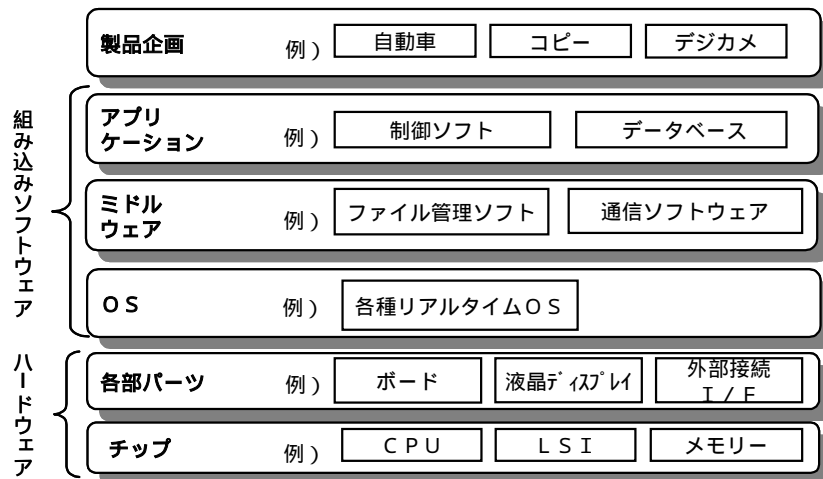


「組み込みソフトウェア事業」新会社の概要

- (1)会社名：未定
- (2)所在地：東京都（予定）
- (3)社長：月原 優<sup>つきはら まさる</sup>（神戸製鋼所情報通信部担当部長）
- (4)事業内容：組み込みミドルウェア<sup>(注3)</sup>製品、組み込み製品開発ツール、組み込みデータベース関連製品の開発・製作・販売業
- (5)設立：平成15年10月31日(予定)
- (6)資本金：2億円
- (7)株主構成：東京電力株式会社 95.1%  
 株式会社神戸製鋼所 3.0%  
 月原 優（神戸製鋼所情報通信部担当部長） 1.3%  
 山内 敏弘（神戸製鋼所情報通信部担当部長） 0.6%
- (8)従業員数：約30名（予定）

(注1) 組み込みソフトウェアとは、電子機器に内蔵されているマイコンに組み込まれているコンパクトで機能を制御しているソフトウェアのこと。デジタルカメラなどの情報家電やエアコン、カーナビをはじめ、産業機械やオフィス機器などに幅広く採用されている。今後、情報ネットワークがさらに進化すると、データ伝送を制御する組み込みソフトウェアの役割はますます重要になり、2010年には5,000億円規模の市場に成長するとみられている。

構成要素



(注2) ユビキタス (Ubiquitous) とは、ラテン語で「いたるところに存在する」という意味があることから、いつでも、どこにいても、誰でも、情報ネットワークにアクセスできる環境を備えた社会のこと。具体的には、パソコン、デジタル情報家電、携帯電話・PDAなどがネットワークで接続され、いつでもどこでもコンピュータを利用できる環境のこと。

(注3) ミドルウェアとは、OSとアプリケーションソフトの中間に位置し、OS単体では不足する機能を補うソフトウェア。(例えば通信やデータ保存など)